

## ロボット導入で生産性向上

○…「ロボットの導入を推進している」と話すのは自動車部品などを手がける前田鉄工所取締役の前田基樹さん。昨年、バリ取りロボットを2台増やし、3台体制にした。1ヶ月にバリ取りが必要な部品は数万個になるため、従業員の負担軽減を狙つた。「手作業では集中力やパワーが必要だつたが、それがほとんどのくなつた」と笑顔を見せる。

○…もともと、自動化投資に積極的だ。現在、勤務時間は昼のみで、夜の数時間はロボットシステムを活用し、無人で稼働する体制を整える。約2億円を投じ、今年9月にはロボット3台を増設し新ラインを本格稼働させる予定で、一人当たりの生産性を2、3倍高める計画。「大変な作業を人間から切り離す」と働きやすい環境づくりに余念がない。



ロ  
ビ  
ー